

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
電波伝搬委員会（第36回）議事概要（案）

- 1 日 時： 令和3年4月12日（月） 13:30~14:45
- 2 場 所： Web開催
- 3 議 題：
 - (1) 電波伝搬委員会第35回会合の議事概要について
 - (2) ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和2年8月）の結果について
 - (3) ITU-R SG3関連会合（令和3年4月）への日本寄与文書について
 - (4) ITU-R SG3関連会合（令和3年4月）への日本対処方針について
 - (5) その他
- 4 配付資料：

資料 電-36-1	電波伝搬委員会（第35回）議事概要（案）
資料 電-36-2-1	ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和2年8月）報告書（案）
資料 電-36-2-2	ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和2年8月）の議論の報告（案）
資料 電-36-3	ITU-R SG3関連会合（令和3年4月）への日本寄与文書（案）
資料 電-36-4	【取扱注意】ITU-R SG3関連会合への日本対処方針（案）
参考資料1	ITU部会における委員会の設置及び運営について
参考資料2	ITU-R SG3関連会合開催案内
参考資料3	ITU-R SG3関連会合に向けた体制について
参考資料4	電波伝搬委員会構成員名簿（令和3年4月1日現在）
- 5 出席者（敬称略、順不同）：

[専門委員]

石井 守（主査：NICT）、松永 真由美（主査代理：静岡大学）、新 博行（NTTドコモ）、足立 朋子（東芝）、大矢 浩代（千葉大学）、川西 直毅（KDDI）、吉敷 由起子（構造計画研究所）、北 直樹（NTT）、土田 健一（NHK）、福本 史郎（ソフトバンク）、前川 泰之（大阪電気通信大学）

[関係者]

中牟田 敏史（代理：海上保安庁）、畠山 浩輝（代理：警察庁）、山田 渉（NTT）、表 英毅（ソフトバンク）、小松 裕（同左）、佐藤 彰弘（同左）、田中 翔馬（同左）、岡村 航（構造計画研究所）、チン ギルバート シー（同左）

[事務局]

熊原 渉（総務省 基幹通信室）、内田 寛武（同左）

6 議事概要：

(1) 電波伝搬委員会第35回会合の議事概要について

資料 電-36-1について、意見等がある場合は、4月16日(金)までに事務局に連絡することとされた。

(2) ITU-R SG3及びSG3関連会合(令和2年8月)の結果について

令和2年8月10日(月)から同月21日(金)にe-Meetingで開催されたITU-R SG3及びSG3関連会合(WP3J、3K、3L、3M)の結果について、資料 電-36-2-1及び電-36-2-2に基づき報告を行ったところ、特段の意見はなく報告書(案)が承認された。

(3) ITU-R SG3関連会合(令和3年4月)への日本寄与文書について

1. 電-36-3-1(3J/J-1, 3K/J-1, 3M/J-1) 勧告P.1409の改定提案

資料 電-36-3-1に基づきソフトバンク 田中氏より説明がなされた後、以下の質疑応答が行われた。追記する情報がある場合、修正した後、入力することが承認された。

新 構成員 p.1、2の内容がCG 3J-3K-3M-14からの提案内容のSummaryなのか、日本からの提案内容のSummaryなのか、位置づけを伺いたい。

表 氏 本寄書の内容はCGで合意されているものであり、CGでの合意内容はほぼ日本の提案になっているため、日本案として提案するもの。一方、CGからも2章までを改訂する入力がある見込み。

新 構成員 入力者名がCGになっていたため混乱した。入力者名はJapanに修正をするべき。また、CG、日本からの入力内容両者の差が明確となるように、本文の中で日本提案がどういう内容か、Attachment中にマーカーで日本提案部分を示したりすると理解しやすくなる。

表 氏 特に3章以降が日本提案になるのでご指摘を踏まえ修正する。また、入力者名は不適切であったので修正する。

2. 電-36-3-2(3J/J-2, 3K/J-2, 3M/J-2) 勧告P.2108の改定提案

資料 電-36-3-2に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、以下の質疑応答が行われた。追記する情報がある場合、修正した後、入力することが承認された。

新 構成員 寄書のAnnex 1において、ITU-R勧告P.2108のAnnex1 3.3節において新たな式が追加提案されているが、同勧告の3.3.2項の式は地上から上空~宇宙に係るクラッタ損のモデルである。今回追加されたものはその中間の成層圏のモデルという理解で、今まで1つの式で表されていたものが途中の領域で別の式になるというのは電波伝搬モデルの整理学的に問題ないか。もしある種

の測定結果なのであれば、3.4節を新設してそこにまとめても良いのではないか。

表 氏 元の式は10GHz以上のモデルであり、今回新設するものは0.7～6GHzまでのモデル。成層圏までしか確認できていないが、この周波数帯で宇宙までの運用がある場合にはこちらのモデルを利用してもらうことになる。

新 構成員 WRC-23議題1.2の関係で、元の式の周波数帯の下限を拡張する動きもあったかと思うが、そちらとの整合性は問題ないか。また、項番号が連番となっていない。

表 氏 クラッタ損を議論しているCG-3K-12において議論がされており、中国から5.7GHz帯に係る入力となされる見込み。今回の会合と6月期の会合で提案が出し合わせ、まとめられていくものと思料。

日本提案はP.1409から参照する先の、HAPS向けの周波数帯に対応したものと、既存のモデルでは対応できていなかったものへ対応することを主眼にしている。他の提案と分けるか、まとめるかは今後議論されるものと考えている。項番号については修正する。

3. 電-36-3-3 (3J/J-3, 3K/J-3, 3M/J-3) 勧告P.833の改定提案
資料 電-36-3-3に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、特段の意見なく承認された。
4. 電-36-3-4 (3J/J-4, 3K/J-4, 3M/J-4) 建物侵入損失の議論文書
資料 電-36-3-4に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、特段の意見なく承認された。
5. 電-36-3-5 (3J/J-5, 3K/J-5, 3M/J-5) クラッタ損失の議論文書
資料 電-36-3-5に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、特段の意見なく承認された。
6. 電-36-3-6 (3J/J-6, 3K/J-6, 3M/J-6) 勧告P.1410の改定提案
資料 電-36-3-6に基づきソフトバンク 佐藤氏より説明がなされた後、以下の質疑応答が行われた。追記する情報がある場合、修正した後、入力することが承認された。
新 構成員 今回追加する都市部における電波伝搬モデルは、HAPS/HIBS以外のスラントパスに一般化することは難しいのか。
表 氏 一般化することはできると考えてはいるが、今回はHAPS向けのモデルを作成することが最優先。一般化する際にどのように記

載するのか悩んでいる。

新 構成員 WRC-23議題1.4向けということであれば今回の提案のとおりで良いと思われる。

7. 電-36-3-7 (3J/J-7, 3K/J-7, 3M/J-7) WP5Dへのリエゾン文書案

資料 電-36-3-7に基づきソフトバンク 小松氏より説明がなされた後、以下の質疑応答が行われた。追記する情報がある場合、修正した後、入力することが承認された。

新 構成員 寄与文書のタイトルの[DRAFT]は不要。また、カバーページ最後の文もリエゾン文書が作成されるのはCGではないので、「6月会合の結果に基づいて」と記載を修正すべき。

また、返答リエゾン文書案についても5段落目のand submitted to SG3 for approvalが混乱を招くので削除すべき。

小松氏 ご指摘のとおり修正する。

(4) ITU-R SG3関連会合（令和3年4月）への日本対処方針について

事務局より、SG3及びSG3関連会合において、日本代表団は資料 電-36-4の内容に従って対処を行うことを提案したところ、以下の質疑応答が行われた。質疑応答の後、本対処方針が承認された。

山田氏 今回の会合は会期4日間と短く、Plenary会合の枠も考えると実質的な議論を行えない寄書が出てくることが想定される。優先順位はどのようにお考えか。

表氏 今回会合と6月会合はセットと認識しており、6月会合で各改訂、リエゾン返答を完成させることを目指す。CGにおいて4月会合で入力できるものは入力するように指示があったので今回入力する。なお、CGも引き続き行われているのでその点も踏まえて修正する可能性もある。いずれにしても具体的な議論は6月会合で行われると考えている。

(5) その他

SG3及びSG3関連会合に向けた今後のスケジュール予定を報告した。スケジュールは以下のとおり。

4/13(火) 寄与文書(案)の修正締切

4/19(月) ITU-R事務局への寄与文書提出締切

4/19(月)～ 外国寄与文書審議表のメール検討

以上